

**【格付け維持】 早稲田大学**

発行体格付け： AA+ [格付けの方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&amp;I)は上記の格付けを公表しました。

**【格付け維持の理由】**

早稲田大学は在籍者が5万人を超える学校法人。前身は1882年に大隈重信が創立した「東京専門学校」である。「学問の独立、学問の活用、模範国民の造就」を建学の理念として発展してきた。創立125周年となる2007年を目指して進めてきた「21世紀の教育研究グランドデザイン」に基づく「新教育研究体制」への転換はほぼ完了し、教育や研究のオープン化や国際化、施設設備の改善などが実現した。

2007年度は2部門の大掛かりな学部の再編を実施したが、入学志願者数は2年連続で増加するなど受験生に改革が浸透している。また若手研究者を養成する高等研究所や医科大学との共同の研究教育施設の設置など、新しい研究分野への展開も進めている。2007年度のグローバルCOEプログラムの採択件数は4件で、私立大学として最も多い。

創立125周年記念事業として、大規模設備投資と平行して進めてきた募金は目標額達成の可能性が高まっており、財務面の負担を最小限に抑えつつ施設設備の改善を実現したことは高く評価できる。もともと、今後の帰属収支差額は125周年記念事業募金の終了でやや落ち込む見通し。新しい中長期計画である「Waseda Next 125」の内容と実行状況を見守りたい。

**【格付け対象】**

発行者：早稲田大学

名称	格付け	格付けの方向性
発行体格付け	AA+ (維持)	安定的

☆発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることもある。